

## 2025年度 総合型選抜（9月募集）課題型（プレゼンテーション）

国際文化学部 比較文化学科

## 1. プレゼンテーション課題

あなたがこれまで行ってきた、異文化理解や多文化共生に関連する総合的な探究活動、ないしそれに類する活動を1つとりあげて、プレゼンテーションを行ってください。その活動が中学校や高等学校などの正課活動として実施されたか、それとも課外活動でされたかは不問とし、あなたが学校の外で個人的・自主的に行っていたり参加していたりした活動を取りあげても構いません。また、その活動がいつ実施されたかも問いません。

プレゼンテーションでは、あなたが携わった活動が異文化理解や多文化共生をめぐるいかなる問題を解決しようとする試みだったのかについて、またその活動の具体的な内容、活動後に残った課題、活動においてあなたが果たした役割・貢献について、発表してください。なお、活動それ自体がもともと異文化理解や多文化共生に明示的に関連していなかった場合は、どのような問題の解決に貢献するものだったと解釈できるのかを発表してください。

## 2. 実施要領および諸注意

## ① 要約シートおよびプレゼンテーション資料の作成について

1. 文献・各種データなどを適宜参照し典拠を示し、客観的な説明を心がけてください。とりわけ活動の内容が異文化理解・多文化共生のどういった問題に関わるのかという点については、あなたの主観や経験だけでなく、文献・各種データにもとづいた説明、つまり第三者が検討可能で、かつ具体的な説明を心がけてください。
2. ネット記事に言及することは妨げませんが、匿名のSNSでのポストなど根拠の不明瞭なものへの言及は控えてください。
3. 図表や画像などの視覚資料も適宜交えてください。
4. 定められた時間内で十分な説明ができるよう事前に練習してください。
5. 口頭試問における質問などを想定して、的確に返答できるよう準備してください。
6. 要約シートは指定書式（A4片面1枚）を用いてください。（指定書式は[こちら](#)からダウンロードしてください。）
7. プレゼンテーション資料は、Microsoft PowerPoint を使用して作成してください。

## ② 当日の実施要領

1. プレゼンテーションの時間は10分間です。プレゼンテーション終了後、口頭試問を10分間行い、そのあと続けて面接を10分間行います（プレゼンテーション、口頭試問、面接で計30分です）。
2. プレゼンテーションでは、「要約シート」と、Microsoft PowerPointの電子データを保存したUSBメモリ、その電子データをプリントアウトしたもののみ持ち込みを認めます。それ以外のもの（読み上げ用の原稿やノート、PC・タブレット・スマートフォンなどの電子機器、その他）は一切持ち込みを認めません。
3. 試験日当日は試験員の指示に従って、PCに記録媒体（USBメモリ）を接続し、Microsoft PowerPointのデータを開いてください。横浜会場においてはプロジェクターでスクリーンに画面を映し、全国会場においては画面共有して、プレゼンテーションが実施されます。なお、万が一電子データが開けなかった場合や画面共有できなかった場合は、要約シートおよび電子データをプリントアウトしたものにもとづいて発表を行ってください。
4. プレゼンテーションは、原則として、横浜会場では指定されたPCのそばに立った状態で、全国会場ではPCの前で、行います。ただし、体調などに特別な事情がある場合には考慮しますので、試験開始時に試験員または試験補助員に申し出てください。

### 3. 評価の視点

プレゼンテーションと口頭試問においては、入学後に必要な総合的学力としての「知識・技能」「思考力、判断力、表現力」に加え、「主体的に多様な人々と協働できる態度」を評価します。具体的には、要約シート、プレゼンテーションおよび口頭試問の場でなされる説明について、以下の要素を評価します。

- ・受験生が行った活動に関わる異文化理解・多文化共生をめぐる問題についての説明と、その問題と活動内容がどのように関わっているのかについての説明から、「知識・技能」を評価します。
- ・活動の具体的な内容、その活動後に残った課題についての説明から、「思考力、判断力、表現力」を評価します。
- ・活動において受験生が担った役割・貢献についての説明から、「主体的に多様な人々と協働できる態度」を評価します。
- ・プレゼンテーション資料の視覚性、要約シートの要約としての妥当性から、「思考力、判断力、表現力」を評価します。
- ・プレゼンテーションにおける態度（目線、声の大きさ・速さなど）、発表時間の過不足から、「主体的に多様な人々と協働できる態度」を評価します。
- ・口頭試問での受け答えから、「思考力、判断力、表現力」を評価します。

以上

【出願時に提出するもの】

提出物の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（要約シート） <input type="checkbox"/> 無
指定書式の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（ <a href="#">ダウンロードリンク</a> ） <input type="checkbox"/> 無（書式指定なし）
提出物の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> ワードプロソフトのみ <input type="checkbox"/> 手書きのみ <input type="checkbox"/> どちらでも可
提出方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出願時 用紙サイズ： A4 片面 1 枚      部数： 2 複数部提出の場合、コピーの可否： <input type="checkbox"/> 可

【試験当日に持参するもの】

（要否欄：必：必ず持参するもの ○：持参して使用が可能なもの ×：使用が不可なもの —：該当なし）

内容	要否	詳細・備考
①課題の成果物 (要約シート/課題レポート/課題で取り組んだパワーポイント等をプリントアウトしたもの/模造紙 等)	必	Microsoft PowerPoint の電子ファイルを 1 ページあたり 2 スライドでプリントアウトしたもの 自分用： 1 部    用紙サイズ： A4 なお、出願時に提出した要約シートを試験日当日に持参してください。
②USB メモリの持参	必	指定されたファイル形式の資料（電子ファイル）のみを入れたもの。 ファイル名は「25-KGU 課題」とすること。 ※USB メモリの中には発表に使用するファイルを 1 つだけ保存すること。複数のファイルに分割したり、発表に不要なファイルを保存したりしないこと。
③パワーポイント発表者ツールの使用可否 (発表でパワーポイントを使用する場合のみ)	○	
④その他 大学側が準備するもの	必	プロジェクター・スクリーン（横浜会場のみ）と PC は大学側が準備する。

※大学で用意する PC の OS は Windows10、ソフトは office2019 です。

※「出願時に提出したものと同じものを試験当日に持参すること」となっている場合、出願後に、作成した資料内容の変更はしないでください。

※準備する資料の形式、条件等の詳細は「2. 実施要領および諸注意」も参照してください。